

平成29年度 学校経営全体構想

<b style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">公教育の立場 ○ 日本国憲法・教育基本法・学校教育法等の諸法規に則り、福岡県教育委員会・嘉麻市教育委員会施策のもと、「鍛ほめ福岡メソッド」と連動し、地域・本校の役割を踏まえた教育を推進する。	<b style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">学校の教育目標 豊かな心と確かな学力 自主・自律の精神を身につけた 児童の育成	<b style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">児童生徒及び地域の実態 ○ 明るく活動的な児童 ○ 体験・経験不足の児童 ○ 経済基盤の厳しい家庭 ○ 学校と地域・家庭との協力・連携が薄い
--	--	--

<b style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">目指す教師像 ○ 児童愛に満ち使命感にもえる教師 ○ 常に自己研鑽に努める教師 ○ 組織人としての自覚を持ち信頼される教師 ○ 地域・家庭の思いによりそう教師	<b style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">目指す児童像 ○ 真剣に学ぶ子 (かしこい子 知) ○ 思いやりのある子 (やさしい子 徳) ○ 最後までがんばりぬく子 (たくましい子 体) ○ けじめのある子 (つよい心の子 律) ○ ふるさとを大切にす子 (嘉麻を愛する子 愛)	<b style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">目指す学校像 ○ 児童が安心・安全にすごせる学校 ○ 清掃の行き届いた美しい学校 ○ 学校・家庭・地域連携による教育力の向上を図る学校
---	--	--

教育課題

- 思いやり・認め合い・肯定的セルフイメージの育成
- 学力格差の克服 (学習を理解する力・一人で学ぶ力・共に学ぶ力)
- 学校・家庭・地域の教育力の向上 (言語環境の整備・基本的な生活習慣の確立・家庭学習の習慣化・保小中の連携)

経営課題

- 校務分掌の機能化・活性化
- 地域の教育力を生かした教育課程の編成・実施
- 教師力の向上 (授業力・学級経営力・生徒指導力・人間関係調整力等)

重点目標 (主体的に学ぶ教育指導)

- 自分の考えを持ち、まとめ表現する力の育成 (教え合い・学びあいを行う交流活動) 【知】
- きまりを守り、進んで挨拶ができる児童の育成 (朝の挨拶100%) 【徳・律】
- 自分の身体を自ら気遣うことのできる児童の育成 (早寝早起き朝ごはん・コーディネーション運動の推進・給食を残さず食べる) 【体】
- 地域の人材・施設・行事等の活用によるふるさとを大切にできる児童の育成 【愛】

経営の重点 (信頼される学校づくり)

- 【組織運営に関すること】
- 組織マネジメントによる校務分掌の機能化・個に集中することなく部チームとしての取組
- 【教育課程に関すること】
- 特別の教科道德の実施及び学校行事・関係機関との連携による諸行事の質の向上。
- 【研修に関すること】
- 主題研修を共有し全教師が年1回以上の授業公開
- 体力向上についてコーディネーション運動の推進
- ※人権同和教育の推進

教育過程編成の基本方針

- 児童の実態や地域の教育環境の特性を生かし、指導内容の重点化を図った年間指導計画を作成する。
- 基礎・基本を重視し、体験活動を通して、個の充実感や達成感が味わえる編成に努める。

校務運営の重点

学力向上プラン全体計画

教務運営の重点

学年で目指す学力

第1学年：自分の考えをペア交流で言える。
 第2学年：自分の考えを持ち、根拠を明確にして言える。
 第3学年：自分の考えを書き他者と比較しながら言える。
 第4学年：自分の考えを書き他者と比較しながら交流できる。
 第5学年：自分の考えを他者と比較し付加修正して言える。
 第6学年：自分の考えを他者と比較し、付加修正を加えて交流できる。

各部の重点目標

教育課程部：基礎・基本と「学ぶ力」の育成
 地域連携のための体験学習の構築
 研修部：自分の考えを持ち、表現できる力の育成
 児童支援部：自他を大切にし、思いを伝え、受け止める力の育成
 生徒指導部：積極的生徒指導と不登校児童の削減
 校内美化活動の推進
 文化・図書部：読書や文化活動に積極的に取り組む児童の育成
 健康教育部：基礎体力と生活習慣の向上

各系の重点目標

学年経営の重点